

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	26年度
事業名	環境衛生事業	担当課	環境課
細分化した事業名			

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	心地よい定住環境のあるまちづくり
	政策	自然を活かし、自然にやさしいまちづくりの推進
	施策	資源循環型社会の構築
関連する個別計画等		根拠条例等

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	市民が衛生的で、かつ、快適な生活環境が守られるよう、害虫防除用機械の貸し出しや衛生指導員を各地区委嘱し、地区住民へのごみ分別指導、ステーションの管理指導などを行う。また、市営墓地の管理を行う。
事業の手段	<ul style="list-style-type: none"> 衛生指導員として任期2年で委嘱する。報酬額は年額1万2千円で原則各地区1名。 地区の申請により消毒機械の貸し出し及び薬剤を配布し、ハエ・蚊などの害虫の被害を防ぐ。 市営墓地の環境美化のため、定期的な清掃を行う。
事業の対象	市民全般

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)	4,742	4,044	2,107
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	4,742	4,044	2,107
B	担当職員数(職員E) (人)	0.05	0.05	0.05
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	341	334	325
D	総事業費(A+C) (千円)	5,083	4,378	2,432
主な事業費用の説明	23年度は非常勤賃金を、24年度は環境基本計画の業務委託料を計上している。25年度の主な事業費は衛生指導員報酬。			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1 衛生指導員研修回数		2	2	1
	2 消毒機械貸し出し地区数		32	30	36
	3 市営墓地清掃回数(1箇所につき)		24	24	24
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	衛生指導員に、ごみステーション等の管理や区民への環境美化指導、及び地区で発生した環境に関する事案の対応などを行ってもらうため、研修を行い知識を深めてもらう。なお、25年度は大雪の影響で視察研修は中止とした。			
	2	貸し出しは地区申請により行う。床下消毒機はハエ・蚊・ゴキブリ等の防除に有効であり、またアメリカシロヒトリは動力噴霧で散布を行う。薬剤は市から許可書を発行し、薬局にて使用注意を行ったうえ、受けとってもらう。実施時期は4月～7月が多い。			
	3	市営新府・北下条墓地の2箇所をそれぞれ月2回のペースで清掃委託している。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	苦情件数	23	27	30
	2	消毒機械の貸し出し率	32	30	36
	3				
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	衛生指導員の指導が徹底している地区は、ごみ出しのルール遵守や他に迷惑をかける行為が少なく、市に寄せられる苦情件数にも反映されている。指導員1人では限界があるので、地区役員、地域住民、行政と一緒に取り組む必要がある。			
	2	アメリカシロヒトリはその年の気象条件により、発生の頻度が変化するが、ここ数年は害虫による苦情は少ないので、地区による防除作業は有効であると思われる。ただし、床下消毒機は故障（地区で無理やりいじってしまう）が多く、毎年修繕が必要となる。			
	3				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大（コストを集中的に投入する） <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善（事務的な改善を実施する） <input type="checkbox"/> 全部改善（内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要） <input type="checkbox"/> 縮小（規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する） <input type="checkbox"/> 廃止（廃止の検討が必要）
事務事業の改善案	改善の概要・方向性（いつまでに、どういう形で具体化するのか）
	26年度の改善計画（今後の事業展開説明） ・衛生指導員については、これまでも地区において、ごみの分別指導やリサイクルの推進、または環境美化の先頭に立ち、活動を行ってきたが、地区によっては指導員としての活動にバラつきがあるので、必要に応じて個別にサポート、アドバイスを行っていく。 ・平成26年度より消毒に使う薬剤の配布方法を変更。厚生労働省の通達に従い医薬品の販売業者（サイグサ薬局）により、取り扱いに係る適正な指導を受けた上で、薬剤を渡す。
過去の改善経過	
課長所見	現在、環境衛生指導員にのみ提供している施策資料を今後、環境衛生指導員を通じて地区長にも提供し、地域との情報の共有と協働を更に高めること。